

## 令和5年度 指定管理業務 実績評価シート

## 基本様式

作成年月日 令和6年6月17日

部課名 健康こども部地域医療課

施設名	弘前市急患診療所
施設の設置目的	休日及び夜間における急病患者に対し、応急的な初期医療の提供を目的とする。
所在地	弘前市大字野田二丁目7番地1
指定管理者名	一般社団法人 弘前市医師会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
<b>1 事業計画の実施状況</b>  事業計画書の通り適切に遂行された。 診療科目:内科・小児科(休日祝日のみ外科) 診療時間:夜間(毎日)午後7時～午後10時30分 日中(日曜日・祝日・8/13・12/31・1/1～3)午前10時～午後4時 従事者:夜間 医師2名、看護師3名、医療事務員1名 日中 医師3名、看護師6名、医療事務員2名、放射線技師1名	
<b>2 自主事業の実施状況</b>  なし	
<b>3 市民サービス向上のための取組状況</b>  市内医療機関が休診となる年末年始等の祝休日や夜間において、初期救急医療体制を維持していた。新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、発熱者の受け入れ体制を整え、インフルエンザ流行期においてもセルフチェックによる検査体制を設けていた。	
<b>4 市民ニーズの把握の実施状況</b>  弘前市急患診療所内にご意見箱を設置し、利用者の要望などの把握を図っている。	
<b>5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）</b>  令和5年度受診者数 内科:2,989人、小児科:3,338人、外科:703人 合計:7,030人	
<b>6 指定管理業務の収支状況</b>  令和5年度 収入額:95,053千円 支出額:95,053千円 人件費、事務費、運営対策費のいずれにおいても適正であった。	

## 7 実地調査の結果

施設の維持管理・運営は適正に実施されている。

## 8 成果指標の達成度

休日・夜間救急診療体制対応日数

目標値 366日(※閏年)

実績値 366日

## 9 評価

## (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	市側と連携対応し、サービスの向上を図っている。	今後も市側と連携対応し、サービスの向上に努める。
施設の管理	C	急患診療所内の冷暖房設備の故障に伴い、内科診察室・処置室・小児科医局にウインドウエアコンが設置されたが、まだ冷暖房が不十分で改善が必要。	特に冷房設備の増設が必要。今後も市側と連携し改善に努める。
経理の状況	B	専従者2名により、業務を遂行している。	今後も適正な事務処理を遂行する。
団体の財務状況	B	良好に推移している。	6年度も健全な運営に努める。

## (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等の内容に基づき、適正に実施している。	
施設の管理	B	設備工事による冷暖房の新設を行ったものの、猛暑時の温度管理についての要望があった。	運用により改善が見込まれる点もあり、状況把握と協議を進める。
経理の状況	B	適正に実施している。	
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	

## 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

## 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

## ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する